



見る
聞く
さがす
夢がある

日立市民の
生涯学習

百年塾ひろば

第37号 発行日/1998.2.20
発行/ひたち生き生き百年塾推進本部
編集/百年塾広報部会
事務局/生涯学習課 ☎0294-23-9150
〒317-0064 日立市神峰町1-6-11

出あいを創る

きれいなまち 学校が楽しいまち 若者が燃えるまち 人にやさしいまち 楽しいまち 国際的なまち 市民と企業が共生するまち

人が変わる まちが変わる

日立市の生涯学習「百年塾」は、平成9年度「出あいを創る」を合言葉に、7つのテーマで進めてきました。市内だけでなくまちを越え、あちらこちらで高校生や分野のちがう人たちが、お互いに交流し新たな出あいを創り広げています。さわやかな新しい挑戦と、生き生きとしたまちづくりの動きを追ってみました。

「ひたちの春」演劇フェスティバル

輝く高校生団員

3年目を迎えた演劇フェスティバルで、今年は高校生たちの活躍がひととき目を引きました。

中でも「Tonic teens」は、日立一・日立二・多賀の3つの高校が合同となったグループで、こうした試みは初めてのものです。この合同劇は、多くの人数でスケールの大きい演劇に取り組みたいという各校の生徒たちの思いが一致。先生の心配をよそに30名が集まりました。

前田君（日立一高）と根本君（多賀高）をリーダーに、演出から舞台衣装まですべて団員たちが担当。またその中には演劇部顧問の先生も一部員として参加しており、時には生徒から指示を受けるなど微笑ましいひとこまもあったようです。まさに高校生が主体となった手づくりの合同劇になりました。

練習時間の学校間の調整や、本番を間近にして高まる団員たちの不安など苦勞する面もたくさんありまし

日立銀座通り商店街 多賀商店街

ひたち銀座通り商店街と多賀商店街の活性化と人々が望む商店街をめざし、かつての賑わいを取り戻すため、市民も商店会も大人も子どもも一緒になって取り組むまちづくりを始めています。

ナイトバザール（日立）

日立銀座モールとマイモール商店街が一緒になって、毎月第2土曜日にナイトバザールをはじめました。



ナイトバザール模擬店でも新しい出あいと発見が…

たが、それら乗り越えながら全員がひとつの目標に向かっていくことは、喜びを数倍してくれたようです。3校中最も多く団員が参加した多賀高校は、こうした公演の他にも、大久保保育園、萬春園などにも出かけて地域との交流の場を広げています。

また、同じこの演劇フェスティバ



本番の前に稽古にも一段と熱が

動きはじめた2つのまち

毎回楽しいイベントが生まれ、商店街の青年部、市民や企業の模擬店も出店、商店街全店参加のプライスセールなども行ない、楽しさを創り出してPRに努めています。

大抽選会の賞品は地場産品を使うことによって、地元の良さの再発見にもつながっているようです。

スタンプラリーで店の場所がわからずに、聞きにくる人がいかに多いかを知りました。市民との交流を通して、商店主の意識が変わり、知名

ルには、明秀学園日立高や太田二高も参加。「市民劇団」にも、一般公募の市民に混じって多くの高校生が活躍しています。

「演劇を通してたくさんの人たちと出あい、さまざまな体験ができてとても楽しい」と語る高校生たち。

休日も返上で公演に臨む高校生たちの若いパワーは、日立の演劇に新しい風を起こすばかりでなく、若者たちの暗いニュースが続く今の社会の中で、私たちに希望の光を投げかけてくれるようです。

度の落ちた商店街の回復をさせたい。そして、今後は子どもの出番や地元のコミュニティ団体とも何かやってみたいと商店街では願っています。

午後7時からのさわやかな交流で街が変わり始めています。

市民の声を大切に（多賀）

多賀商店街では、市民と商店会がともに取り組む「商店会と女性の会」を結成。消費者の主流をなす女性た



ぼんぼこバス到着歓迎式に幼稚園児も鼓笛で応援

いるんな町と交流

— かげ絵同好会 —

かげ絵同好会は、影絵劇を製作し、公演している主婦のグループです。「テレビに子守をさせないで！影絵、出前いたします。」と、活動を始め



てから23年がたちました。子供たちに手づくりで夢の世界を与え、ふるさとの話を伝え残していこう、と活動を続けてきました。

最近、大洗町の保育園と大洗町の公民館でも公演。それがきっかけで、「おはなし教室」という講座が開かれ、影絵の作り方を指導しました。「影絵とは？」という講義から始めて、影絵の作り方を3回コースで教えました。スクリーンに映る一場面、一場面に歓声をあげながら演じる大洗町の受講生たちは、輝いていました。3月の完成作品発表会が楽しみです。

「教える」ことは、自分自身の勉強にもなり良い経験です。新たな感動を覚えながら、かげ絵を通してこのように他市町と楽しい交流をしています。

ちの意見やアイデアなどが次々と取り入れられています。

会では市内の一般消費者、商店街近辺の小学生、商店主などを対象に多賀商店街に対する意識のアンケート調査を行いました。その結果、市民の多くがにぎわいと心へのふれあいや憩い場としての商店街を望んでいることがわかりました。

商店会はそうした市民の要望に応え、各所にベンチを設置したり「トイレ貸します」の表示を店の入り口に貼るなど、きめの細かいサービスに努めています。子どもから要望が多かった花いっぱい運動や、楽しいイベントなどの実現に向けて、計画が進められているようです。

また、商店会は昨年の11月から2か月間、買物をする人たちのために、周辺の団地と商店街を結ぶ無料送迎バスを試験運行、その成果も注目されています。

広報マンも なかなかい...

百年塾広報部が主催する「広報研修会」の今年度の締めくくりとして広報紙コンクールを行い、1月24日(土)視聴覚センターで発表と表彰を行いました。応募には小学校PTAが13校、中学校PTAが7校、一般14団体が参加、平成7年度からシリーズで行ってきた研修会の成

果がみられ、各広報紙とも全体的にレベルが向上しました。

特に中学校PTA広報紙は企画、構成ともにバランスのとれた素晴らしいできばえでした。

また、写真の扱い方やレイアウトのうまいもの、ワープロで版下を作り、どこにも負けない回数発行を

しているPTAもありました。

表彰に続いて、入賞団体の代表によるフォーラムが行われました。

挨拶文をなくし、記事にも力を入れた。子どもにも興味を持たれるよ



入賞作品に見入る広報マンたち

うなアンケートにした。表紙の写真に気を使った。写真はまめにとった。児童が描いたカットを使用。記事の取捨選択に悩む。地域の情報も入れた。...などが報告され、厚みの加わった広報紙になったことがうかがわれました。

レベルアップを図っていくために広報研修会を続けてほしいという声がしきりでした。

平成10年度
第1回広報研修会〈初級編〉
とき 5月9日(土)午後1時～
ところ 日立市視聴覚センター

地域・学校による
「福祉」を考えるつどい
—福祉教育シンポジウム—

とき 2月26日(木)
午後1時15分～3時50分
ところ 日立シビックセンター天球劇場
対象 地域福祉関係者・学校関係者・市内各団体
テーマ 地域と学校の「共生」をめざして
コーディネータ 安藤 博さん(茨城キリスト教大学教授)
シンポジスト 古川 敏さん(湖山学区住みよいまちをつくる会)
橋 松壽さん(日立市立成沢小学校校長)
高橋憲司さん(日立市立泉丘中学校校長)
古川正元さん(日立市子ども会育成連合会指導部副部長)

	小学校PTA	中学校PTA	一般
●本部長賞	油縄子	多賀	日高学区市民自治会
●審査員長賞	大みか	平沢	坂下学区市民運動を進める会
●広報部会長賞	田尻	大久保	大沼学区コミュニティ推進会
●フォト賞	油縄子	駒王	滑川学区地域福祉の会
●レイアウト賞	会瀬 金沢	多賀	塙山学区住みよいまちをつくる会

広報マン全員集合



↑入賞団体代表のフォーラム 左2人目から荒井仁さん(坂下学区) 鈴木達さん(日高学区) 平塚るり子さん(平沢中) 緒引恵子さん(大みか小) 松崎裕子さん(多賀中) 関根千恵美さん(油縄子小)

フェスタ'97きれいなまちわたしの提言

賑わいをみせたフェスタ'97の「きれいなまち」の中で「わたしの提言」コーナーを設けたところ28人の方からご意見をいただきました。

主な提言として

●空き缶、菓子袋、ペットボトル、たばこ等のゴミ捨てが相変わらず多く、公園や道路、墓地が汚い。

●病気対策も含めて桜の世話を定

期的に実施して、日立の桜をクローズアップしたい。

●油、洗剤、ごみ等による河川の汚れが目立つ。

その他、看板や広告が多過ぎる、音の公害も考えたい等々の意見がありました。

早速、関係機関に依頼しましたが、同時に私たち市民のだけれども「日立市をもっときれいに住みよいまちに」という気持ちで、日頃から行動することがもっと大切です。

一緒に百年塾を進めてみませんか！ 推進委員を募集

生涯学習運動「ひたち生き生き百年塾」では、現在約150人の市民の皆さんが推進員として、市民教授サークルなど人材・グループの情報提供、取材や広報紙を通じてPR活動、百年塾フェスタなどイベントの企画・運営、学校や企業・地域における生涯学習との連携など、市民生活の幅広い分野で活動しています。

4月から新たに活動できる方を募集しますので、気軽に申し込んでください。また、知り合いの方を推薦してください。任期は2年です。

—申し込み・お問い合わせ—
〒切 3月20日(金)
生涯学習課 ☎23-9150
百年塾サロン ☎23-9165へ

講座案内

・日時 3月から毎月第1・第3火曜日 午前9～12時
・場所 滑川公民館中会議室
・対象 男女15名
・参加料 無料
・その他 歌ってみたい方はテープを持参のこと
・連絡先 坂本 ☎22-5309

★カラオケ河原子会

美容と健康、皆様とのふれあいをモットーにしている。
・日時 毎月第2・第4火曜日 午後7～9時
・場所 東多賀・河原子コミュニティセンター
・対象 多数
・会費 月2500円
・連絡先 佐藤 ☎53-4599 (午後8時以降)

コミュニティ女性フォーラム

とき 3月15日(日)
午後1時～4時
ところ 助川コミュニティセンター
内容 子育てをテーマに 活動報告と座談会
報告書 西川 徹さん(夕ヶ森 はいてん とみや 代表)
藤川翠子さん(川島親子クラブ 代表)
対象 どなたでも
申込み 市民活動課(22-3111 内513)

市民教授
あの人この人
97年9月～98.1月に登録された方(敬称略)
■伊藤 正夫 日高町(民話) ■大久保 なおみ 東大沼町(フラワーコーディネーター・カラー・テーブルコーディネーター) ■大

親子サークルはどこへ

3才児の母親たちが自主サークルをつくりました。しかし、集会場所を見つけることができませんでした。

公民館やコミセンは利用団体でいっぱいなのです。(現在、各コミセンの登録利用団体数は約50～80。そのうち自主親子サークルは0～4。平均1.6%) 趣味のサークル活動が盛んで、親子サークルの利用はあまりにも少ないのです。

幼児の親子サークル活動には、指導者、サポーター、ベビーシッター、そして安心して使える場所が必要なのです。これら自分たちですべて準備することができるといいですね。

公民館やコミセンは、これらの機能と条件、そして情報を備えている場であることを思い出してほしいのです。

親子サークルの母親は「こどもが育つを見守ろう」そして「一緒に育ててください」とお願いしたいのです。

—子育て中の母親より—



公民館やコミセンでこんな風景がたくさん見られるといいね。

津寿 日高町(環境問題) ■北沢 計城南町(絵画) ■窪木 敦子 桜川町(イタリア語) ■小敷 章良 ひたちなか市青葉町(オペラの楽しみ方) ■佐藤 洋子 高鈴町(茶道) ■志賀 真智子 小木津町(華道) ■菅谷 政宏 諏訪町(登山) ■須藤 照子 日高町(詩道) ■関 清光 田尻町(木工ろくろ) ■平田 邦彦 東多賀町(パソコン)

お詫びと訂正

前号でお知らせした、サロン移転の記事に誤りがありましたので、ここにお詫びし、訂正いたします。

■百年塾サロン TEL 23-9165 FAX 24-5200
■住所 日立市神峰町1-6-11



土・日曜日も開館し、午前10時から午後4時まで百年塾推進委員もいます。

百年塾に関する情報提供や市民教授の紹介・登録についてお問合せなど、お気軽にご利用ください。